

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

4

1975 APR. NO.142

新発売 ヤマハトレールDT400  
ヤマハトレールDT250



大きな自然のびのび 菅生 スポーツごころの大きなふれあい  
5月1日 オープン

# 5月1日～5日 菅生オープニングウィーク

## 菅生オープニングウィーク・プログラム

<b>1</b> 日	<b>菅生オープニング・セレモニー</b> <b>教室</b> ●ロードレースコーナー ●カート教室 ●モトクロス教室 ●二輪車安全運転講習会 ●トライアル教室
<b>2</b> 日	<b>レース</b> ●全日本選抜ロードレース公式予選 <b>模範走行</b> ●モトクロス ●トライアル ●カート
<b>3</b> 日	<b>菅生オープニング・フェスティバル</b> <b>レース</b> ●全日本選抜ロードレース大会 ●菅生チャレンジカップモトクロス第1戦 ●菅生チャレンジカップ・カートレース第1戦 <b>教室</b> ●ロードレースコーナー ●ミニトライアル教室
<b>4</b> 日	<b>レース</b> ●全日本カート選手権シリーズ第3戦 ●菅生チャレンジカップ・トライアル第1戦 ●レジャーバイク大運動会 ●菅生オープン記念ロードレース公式予選 ●レディースゴーカート <b>その他</b> ●「シャナナ仙台」公開録音
<b>5</b> 日	<b>子供の日「菅生カーニバル」</b> <b>レース</b> ●菅生オープン記念ロードレース大会 ●第1回菅生チャレンジカップ・マラソン大会 ●全日本サイクロス第1戦 ●全日本サイクルジムカーナ第1戦(自転車運動会) ●第1回サーフカート大会 ●菅生オープン記念サイクルロードレース <b>教室</b> ●ロードレースコーナー <b>その他</b> ●スゴー・チャリティーバザール
	1日から5日まで連日開催 ●ミュージック・イン・スゴー ★アマチュアバンド合戦(1～4日) ★ラブリーナイト・イン・スゴー ★グリーングラス・コンサート(5日) ●冒険ジャルダン ●乗り物コーナー ●部品用品・おみやげ販売コーナー ●バイク・サービスチェックコーナー 4日および5日 ●グニャグニャ風大会 ●スゴーお祭り横丁 ●子供スケッチ大会



# 菅生

## SUGO

ヤマハ発動機株式会社  
 宮城県柴田郡村田町大字菅生字猪石6-1  
 PHONE 022483-3111(代)☎989-14



### 菅生入場料

	当日券	前売券
大人	800円	700円
高校生	500円	400円
小・中学生	200円	

★お得な前売券を発売しております。  
 どうぞご利用ください。

大きな自然のびのび菅生  
 スポーツごころの大きなふれあい

# SUGO 5月1日待望のオープン



ヤマハがみちのく宮城県仙台市郊外に建設をすすめてきた総合スポーツ・レジャーの場『菅生』が、来る五月一日オープンのほこびとなりました。

本誌でもすでにご紹介いたしましたようにここ『菅生』は、ロードレース、モトクロス、トライアル、カートレースなど、充実した各種モータースポーツの施設を中心に、『冒険ジャルダン』『乗物広場』など、緑ゆたかなみちのくの大自然を舞台に数々のスポーツ・レジャーが楽しめる設計となっています。

大自然の中にのびのびと憩い、心からのプレイが楽しめる『菅生』は、お店のみなさまにとつてもまた大きな商品となるものです。

たとえば、日ごろヤマハが提唱している健全なモータースポーツのすべてが、ここ『菅生』で実現されるほか、モータースポーツへの入門コースとして各種教室の会場としても利用いただけます。

またラリー、遠乗り、ラーリングの集合地点としても利用度は高く、ご家族そろってお泊りして四季おりおりの野外スポーツ・レジャーをお楽しみいただくこともできます。

世界でも例をみないこの新しいスタイルのスポーツ・レジャーの場『菅生』は、いま各界注目の中に五月一日のオープンが待たれています。

そして、五月五日子供の日までをオープニングウィークとして、『菅生』のすべてを大成した各種の催事が組まれています。

お店と『菅生』がつよいきづなで結ばれ、お店のお客さまにバイクのある新しい生活をおおくりすることを念願に、いま『菅生』はみなさまのご参加をお待ちしています。





バイクを接点として自然と人、人と人、ふれあいの輪がひろがる菅生。

お店のみなさまには、今後のご商売にどうぞ活用いただけるか、またお客さまとともに菅生で、どんな楽しさを創りだしていただけるか—これらを具体的にご覧いただけるのが、5月1日から5日までのオープニング・ウィークです。

ここに菅生の概要とオープニングウィーク・プログラムをご案内いたします。

ウズ選手の手によるミック・セクションです。チャンピオンがつくり上げたセクションで、バイクを自在にコントロールする素晴らしさを、すべての人に心ゆくまで楽しんでいただき、その上達ぶりを確かめながら、よりハードなセクションにトライできる理想的なレイアウトが施されています。

1日にはトライアル教室、4日には菅生チャレンジカップトライアル第1戦で、若者たちのトライが始まります。

### 冒険ジャルダン

「冒険ジャルダン」、耳新しいこの言葉にオヤツと思われることでしょう。

大自然の中で思いっきり体をのぼし、体を動かすことの素晴らしさを知っていただく、新しい野外スポーツの広場のことです。

ロードコース・メインスタンド北の自然ゾーンを中心にした冒険ジャルダンには、自然の中に50を越すアスレチック・セクションが点在し、人間の本能的なスポーツごころを呼びさましてくれることでしょう。

### 音楽

モータースポーツのサウンドと音楽のサウンド、音楽もまた菅生の大きな楽しさのひとつです。菅生の音楽イベントは、ロードコース・メインスタンド奥の音楽広場とカートコースの特設スタジオを中心に展開され、フォーク、ロックをはじめ、あらゆるジャンルの音楽の交



流がはかられます。

とくにオープニングウィークの間には、ミュージックイン・スゴーとして、1日から4日までアマチュアバンド合戦、また5日には高石ともやとナターシャセブン、カルメン・マキとOZなどフォーク、ロックの人気バンドを交えてグリーングラス・コンサートが若人の注目を集めてくりひろげられます。

### 乗り物コーナー

ランド内数カ所に分かれた乗り物コーナーには、レーシングカート、サーフカート、おかしなおかしな自転車、ゴーカート、デューンバギー、モトバイク、ミニバイクなど、菅生ならではのユニークな乗り物が、みなさまのご利用をお待ちしています。

日頃バイクにはなじみやすいお客さまにも、こうした楽しい乗り物をぜひおすすめくださ

い。きっとすべてのお客さまがバイクをはじめ、エンジンのついた乗り物のすばらしさに気づかれることでしょう。

また広い場内の足として、ユックリズムのすてきなヤマハ製ランドカーも用意されています。

### ホテル

周囲の自然にすっぽりとつまれたホテル。スポーツの快い疲れをゆっくりいやしていただけるように特に菅生ならではの配慮がくばられています。

オープニングウィーク中は、連日2階でラブリナイト・イン・スゴー、菅生の歌のタベがムーディーにひられます。

4日～5日

★グニャグニャ嵐大会(モトクロスパドック)

★子供スケッチ大会(全菅生内)

★みんなで作ろうトーテムポール(ロードメインスタンド上広場)

★菅生お祭横丁(周遊道路)

5日

★菅生チャリティーバザール(ロードメインスタンド奥)

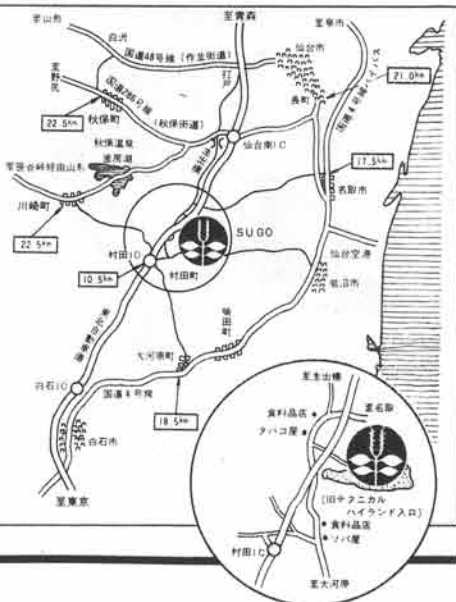
1日～5日

★部品用品おみやげ販売コーナー(場内数カ所)

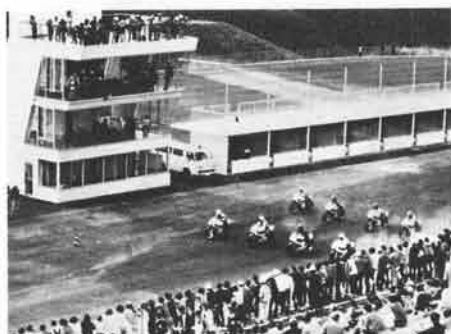
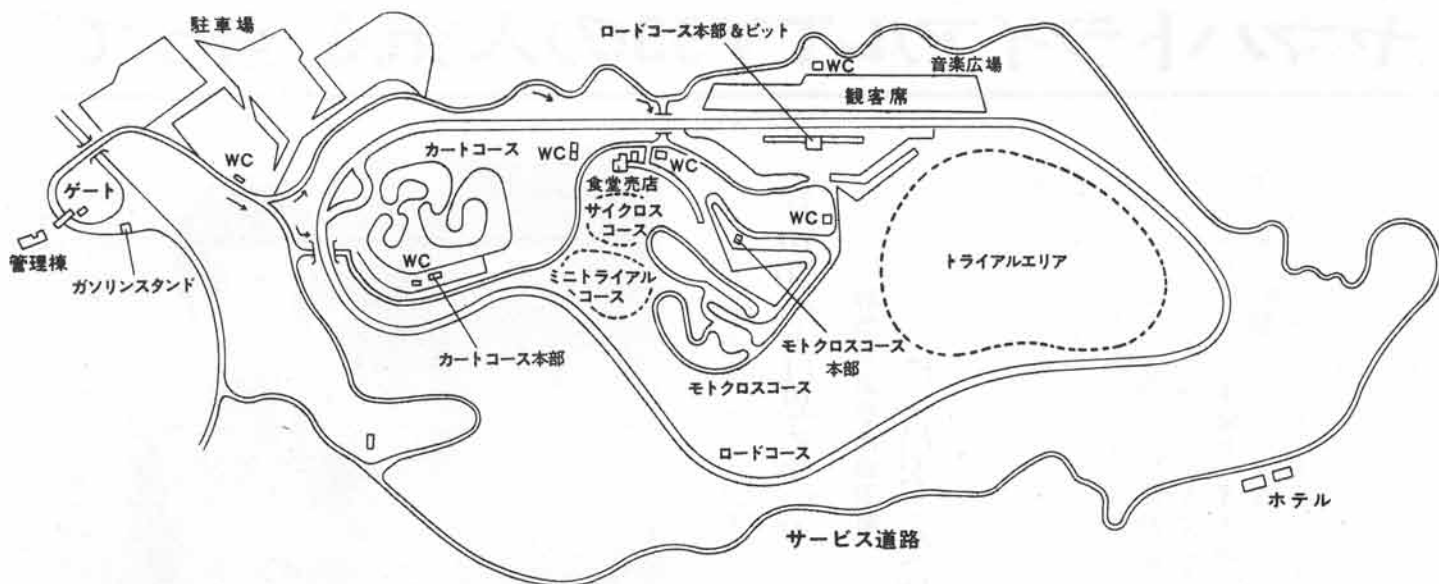
★バイクサービスチェックコーナー(メインゲート前ガソリンスタンド)

菅生へは  
仙台から50分  
東京から4時間

仙台駅より20km  
自動車  
仙台駅より約50分  
東北縦貫道・村田ICから10分  
電車  
東北新幹線開通時  
東京→仙台1時間40分  
飛行機  
東京→仙台45分  
空港からは車で約35分



# 大きな自然 のびのび菅生 スポーツごころの大きなふれあい



## ロードコース



1周 2,654mのロードコースは、日本はもちろん、世界にもあまり例のない豊かな緑に囲まれた理想的なコースです。

シンプルなレイアウトと適度なアップ・ダウンそして充実した安全対策、初心者からベテランまでテクニックに合わせて存分に楽しめるコースです。

ここロードコースは、選抜ライダーによる全日本選抜ロードレース(3日)、菅生オープン記念ロードレース(5日)のほか、レディースゴカート(4日)、5日には第1回菅生チャレンジカップマラソン大会、菅生オープン記念サイクルロードレースも開催され、さらにグランドスタンド前はオープニングセレモニー(1日)、オープニングフェスティバル(3日)の会場となります。

また、1日、3日、5日メインスタンド内ライダーボード横に開設されるロードレースコーナーは、本橋明泰、河崎裕之、片山敬済ら超一流ライダーが出席してロードレースのすべてをご紹介します。ロードレース指向のお客様さまにぜひおすすめください。

## モトクロスコース



スターティングマシンを常備したスタートラインから右に左に自然をめぐって興味深いコースレイアウトのモトクロスコース。レース展開のほとんどを

見わたせるのも菅生モトクロスコースの大きな特長となっています。

菅生チャレンジカップモトクロス第1戦(3日)そして菅生モトクロス教室(1日)が、プログラムに組まれています。教室やレースなどモトクロスの特に盛んな東北の地で、新しいメッカとなる菅生です。

また一面の芝におおわれたパドックにはミニトライアルコース、サイクロスコースも組まれ、レンタルのTY50やTY80によるミニトライアル教室(3日)、80cc以下のレジャーバイクによるレジャーバイク大運動会(4日)、自転車によるモトクロス・全日本サイクロス第1戦(5日)など、趣向をこらした楽しい催しもありますので、ぜひお客さまとおそろいでお遊びください。

## カートコース



SLカート教室、SL杯カートレースシリーズを中心に新時代に突入して急成長をみせている日本のカートレース、そして全カートの期待を集める菅生カートコースです。

トリッキーなコーナーと直線の巧みな組合せでいく通りもの変化にとんだコースが設定できるのが大きな特長となっています。

またロードコースのヘアピンコーナーに隣接し、両コースの結合も可能となっています。

1日のカート教室から、菅生チャレンジカップカートレース第1戦(3日)、全日本カート選手権シリーズ第3戦(4日)、と連日注目のイベントが開催されます。

また、二輪車安全運転講習会(1日)、全日本サイクルジムカーナ第1戦(自転車運動会)、第1回サーフカート大会などもここカートコースを舞台に楽しく展開されるのです。

さらにカートコースは、モータースポーツ、野外スポーツとならんで菅生の大きな楽しさ音楽の会場ともなります。

子供の日5日の呼び物「菅生カーニバル」の「ぬいぐるみ大行進」「歌のおねえさん」をはじめ、4日には東北放送の人気番組「シャナナ仙台」の公開録音などもカートコースメインスタンドの特設スタジオが、はなやかな舞台となります。

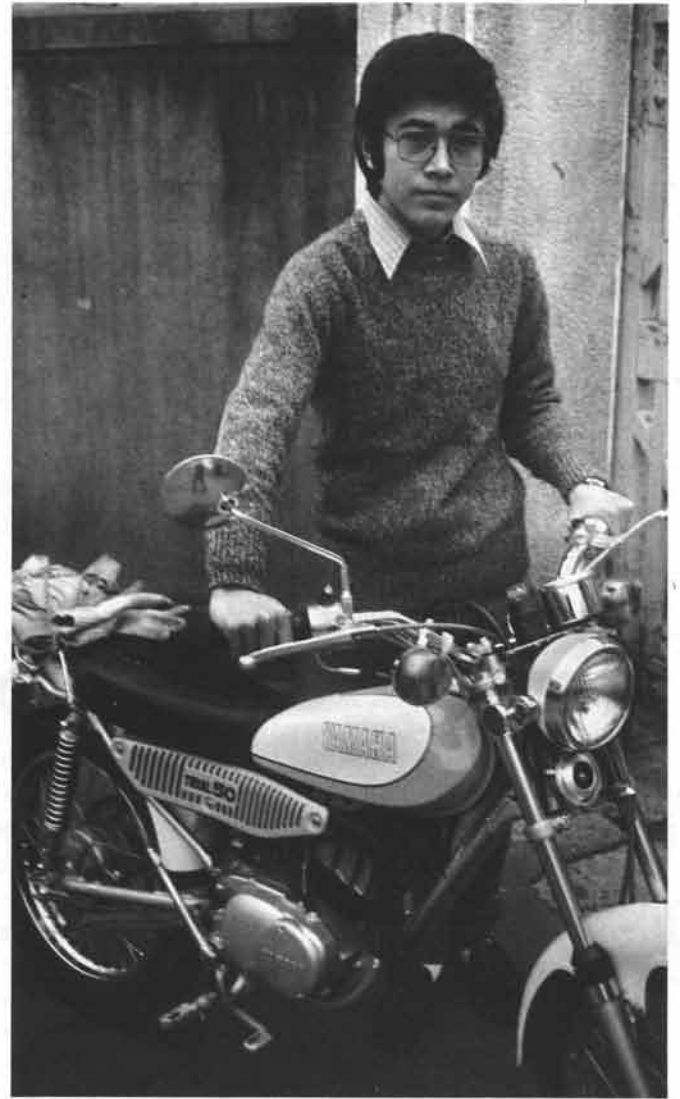


## トライアルコース



雄大な菅生の自然、変化に富んだ地形、これを存分に生かして設定された菅生トライアルコースは、おなじみトライアルの魔術師ミック・アンドリュ

# 大地をもっと知るための50c.c。 ヤマハトリアルTY50の人気を追って



トリアル・テクニクが学べる  
これが50ccとは思えない!!

静岡県浜松市白羽町

松本昌宏さん(16才)

免許を取ってから、すぐにTY50を買った  
ら家族に、免許を取ったのはそのためか、と  
言われました、事実なんですけど——、と語  
るのは浜松在住の松本昌宏さん。

「TYシリーズで50ccが発売になる、という  
噂を聞いて、すぐに免許を取りに行きました。  
二月十五日に手元に置かれたTY50を見た時  
には、免許合格の時よりもうれしかったです  
ヨ。いまはほとんど通勤に乗っていますが、  
休日は天竜川の河原で友達とミニミニ・トライ  
アルをしています。」

流木を置いての丸太越えや誰れが一番小さ

く8の字が描けるかなど、他の50ccではでき  
ないことが、このTY50では可能なので、土  
手の上から見てた人が近くまで来て見たりし  
てます。そして50ccであることを知ると、み  
んな一様に驚いています。  
今年の夏には、TY50だけで佐久間ダムま  
での、ツーリングを計画していますが、TY  
50によるミニミニ・トリアル、ミニ・トラ  
イアルランなど、販売店さんもぜひ計画して  
欲しいですね」

スポーツ、実用、ファッション

三拍子そろったTY50

埼玉県与野市与野

福島一夫さん(21才)

自他共に、50ccのプロフェッショナルを  
名乗る埼玉県与野市の福島一夫さん。それだ



けにTY50の話にも熱が入る。

「これまでに50ccだけ、10台以上に乗りまし  
た。それもすべてヤマハ車だけです。2サイ  
クルの持つ性能の魅力と、ヤマハだけのスリ  
ムな乗りやすさがその理由なんです。だから  
この次もヤマハ50ccの「ニュータイプ」を、  
と考えていた時に、TY50の発売を知り販売  
店に『ぜひ第一号車を』と予約しておしまし  
た。」

乗って驚いたことは、車高や車長などトラ  
イアル車としての要素が満点だけでなく、50  
ccエンジンを、ピタリマッチングさせてい  
るんですネ。トリアル的なラフ走行が可能  
なだけでなく、実用的で、市街地を走る時は  
ファッションバイク、そしてツーリングバイ  
クと、毎日走ることが楽しいですよ」

二月一日に購入してから一カ月で五・四kmを  
走行。これからシーズンを迎えてさらに走行  
距離はのばされることだろう。

トリアル記事が目につきます

工事現場の足として最高

埼玉県浦和市三室

浅子勝明さん(33才)

上下水道の配管で、工事現場などへ行くの

おかげさまで「TY50」の人気は最高潮。ここにお客さまの声を収録、あらためて「TY50」の特長を解説しました。販売店さまの「TY50」にかける期待と同じく、お客さまの評判もまさに上々です。

# 売行き好調!!



に浅子勝明さんのTY50は、何かと便利で切り離せない足になっている。

「三月十日に購入してからこれまで、雨の日もありましたが毎日乗っています。」

仕事の関係で工事現場や悪路など、TY50にとっては、かなりかわいそうな使い方をしています。反面、私には非常に助かります。TY50の持つネバリ強さとロードクリアランスの高さは、広い現場内での移動に、そして汚れても簡単に洗車や整備がしやすいなど、これまでの50cc車には望めない点がTY50には多いですね。



昼休みなどには、盛り土やヒューム管をセクションに見立てての、ミニトライアルをしたり、これまでの通勤や、余暇の使い方が変わりました。」  
家に帰っても専門誌のトライアル記事がとくに目につき、書棚から古本まで引っぱり出してきて読むようになった——と完全に気に入りの様子。

## オールマイティバイク これがTY50の特長

春日井市下市場町

木全伸二さん(18才)



「今まで大型車と、ミニトレに乗っていましたが、こんど新たにTY50を買いました。トライアルの要素がもりこまれているというところが一番の魅力です。もともと50ccは近所まわりの足として使っていました。TY50なら色々なことを楽しめそうだし、レジャーバイクとして最高だと思えます。スタイルもいいし乗っておもしろいし多様性のあるオールマ

## TY50セールスポイント

原付免許、普通免許で手軽に乗れる50ccバイクの入門車としてはもちろん、トライアル入門車としても最適なバイクが「TY50」です。すべてに扱いやすい50cc車の特性をフルに生かし、より軽量に、乗りやすくとめた車体設計は、低いシート位置、スリムな車体両側面を生みだし、加えて、低速から実力を発揮するトルクインダクション・エンジンと5速ミッションの組合せが、オン・ロードからオフ・ロードへ、大地を的確にとらえて走る新しい世界をつくりだします。

鋼管ダブルクレードルのしつかりとしたフレーム。50cc級としては最大の太いタイヤ。後輪クッションは特に5段階換式として用途を大きく広げています。またハンドルバー右のグリップ部にはエンジン・キルスイッチ、ヘッドライトのオン/オフスイッチが手際よく配置され、緊急の場合の安全性、トンネルの通過の便利さを保ち、左グリップ部にはヘッドライトのアップ/ダウン、フラッシュャーランプ、クラクションのスイッチが配置されています。容量4・7ℓの燃料タンクはブリザーバイブ付のネジ込み式。車を倒してもガソリン洩れを防ぐトライアル仕様です。細目で長いシート下部には、ツール、バッテリー、オイルタンクがおかれ、シート・フ

次ページへ続く

天気の良い日は  
バイクに乗ろう

イテイな50ccといったのがTY50に対する感想です」



乗りやすさ抜群

新聞配達にも最適

春日井市神領町

北川嘉則さん(18才)



「超ミニバイクののっていましたが、最近、店の裏の広場で、モトクロスというかトライアルというか、両方とりませたようなことをして皆で楽しんでいるのですが、超ミニバイクではもの足りなくなってしまうんです。学生でアルバイトに新聞配達をしています」

TY50ならアルバイトにもつかえるし遊びもできるし一挙両得です。安定性もよく、乗りやすさは、抜群だと思います」

みごとなファッション

基本の習得にもってこい

横浜市鶴見区

鬼頭 猛さん(16才)

吉村孝道さん(23才)

去年の七月、三人そろって原付免許をとった鬼頭さんと吉村さん。横浜の自動車部品メーカーに勤務し、もっか社員寮で起居をともにしている大の仲良しである。

「店頭でTY50を見かけた瞬間、コレだあつと決めたほど衝撃的な魅力がありました。ファッション性ゆたかなスタイリング、そして中広い実用性。まさに新しいバイクそのものです。」

休日には郊外までのツーリング、多摩川河原でのトライアルと、両方をたっぷり楽しんでいきます。原付免許を取得した時点では、はやく自動二輪免許もとって大排気量車に乗ろううと思っていました。TY50はそんな気持ち

ックはロック付です。そして、ほかに豊富なリヤキャリアが標準装備されています。乗りやすい50cc車をベースに、トライアル仕様をとり入れてさらに乗りやすさを増した「TY50」は、クリーンホワイトとコンペティションイエローおよびチャビレッドの追加もあり、ファッション性もまたゆたかな商品です。



をしばらく忘れさせるほど楽しいバイクですね。TY50で楽しめるものはまだまだたくさんあるといった感じがします。TY50でバイクの楽しさを充分味わうとともに、将来大型車に乗るようになるためのライディングの基礎をしっかりと身につけようと思っています」



# 魅力の商品「TY50」を得て

商機を逸することなく  
販売拡張をめざす

横浜市鶴見区 入谷輪業

高坂明男さん(28才)



「うちの店では、すでにTY125、TY250をもったお客さまが、競技としてのトライアルを楽しんでいます。こうした仲間を見たり、知っているお客さまにとっても、トライアルは単なるブームではなく、そういう根強い関心ももたれています。いつか自分でやってみたいと思っているお客さまが多くなったところでのTY50の発売はまさにグッドタイミングといえますね。TY125、250とスタイル、デザインがそのまま、なおかつ原付免許で乗れる50ccであるということは、ビギナーにとつては最大の魅力ではないでしょうか。トライアル教室も開催し、TY50のお客さまにも参加していただいています。TY50のお客さまが将来、TY125、250に移行していくことは充分考えられます。」

トライアルができるといった魅力のほかにTY50は、ファッションバイクとしての魅力に溢れたバイクです。最近では、お客さまの目が肥えてきたというか、バイクをよく知ってきたというか、バイクに対する嗜好性もお客さまによって様々です。バイク、とくに50ccバイクはすでに耐久消費材ではなく、衝動的、フィーリングで買われる時代になったようです。そんな状態で、TY50は、こうしたお客さまの嗜好、要望をすべて満たすことができているバイクであるとの印象をお客さまに与えていることも事実です。こうした時期に発売されたTY50を、商機を逸することなく売り込んでいきたいと思っています。」

## 売れる商品だからこそ

### 一括仕入れで大量販売

愛知県春日井市 春日井スズキ販売

斉藤昇さん(27才)



「4年前に独立開業して以来、自分が「これはイケル」と判断した新商品は、発売とともに10台、15台と一括仕入れをし、短期間のうちに大量に販売するといった方策をたて実行しています。自分が見て「イケルな」と思うようなものは、必ずお客さまにも喜んでい

ただる商品であるとの自信があるからです。以前のチャビイがそうでしたし、今度のTY50はまさにそれです。タイミングに合わせた積極的な大量販売作戦がわたくしの信条、すでに十数台のTY50がうちのステッカーをつけて街を走っています。」

うちのお客さまは、主にツーリングを楽しむ大型派と、乗りやすい50ccに乗る原付派に極端に分れ、中間の車種に乗るお客さまは少ないのです。そこで、すでに大型車に乗っているお客さまにはセカンドバイクとして、また、すでに他の50ccに乗っているお客さまと、新たに50ccをもとめているお客さまには、従来の50ccバイクにはないTY50の魅力を理解していただいて、代替需要、新規需要に結びつけています。」

街のあちらこちらで、「あ、また走っているあのバイク」と関心をもたれるようになっていけばしめたもの、こちらからPRするまでもなく、お客さまが買いにきてくれます。」

話しがやや脱線するかもしれませんが、これからの販売店は、ただ商品を売るだけではダメですね。購入計画のあるお客さまから「あの店で買えば、多勢の仲間と、おもしろい遊び方ができそうだ」といった雰囲気や店に溢れているような店づくりをしていかなければなりません。お客さまとともに遊び、お客の遊びをリードしていくことが必要です。具体的にいえば、遊ぶ空間、時間、仲間を確保してやることです。月に一度、日曜日に50ccのバイクに乗るお客さまを集めて運動会をします。50ccならどんなバイクでも参加していたら、色々な競技をするなかでTY50の優秀さはお客さまに自然にわかってもらえらると思っています。」

こうしたよい商品を持ち、ユーザーにもメーカーにも選ばれる店となること、これが私の経営方針でもあります。」

# て試した、カートの素晴しさ。

発表試乗会を兼ねて専門誌記者が一日トレーニング



## 安定性・安全性に二様の声

三月十二日、静岡県プリンス・カートウェイで、専門誌関係者を対象とした。カート75年モデル、ヤマハレッドアローRC-100M・IIの発表、あわせてライセンス講習会が行われました。

カート全般の統轄が「JAF」とあって、出席者十六名の内訳も、四輪専門誌七社の十二名、二輪専門誌の四名と、これまでの発表会と一風異なったもの。十一時からの製品説明、十二時半からの講習会では活発な質問が飛び、カートがこうした四輪専門のジャーナリストの間でもふかい関心を持っていることが感じられたものです。また午後からの試乗では、ドリフト走行や地上4cmのコーナリングなど、用意された七台のRC-100M・IIを走らせ、カート独特の走りに「セーフティコーナリング」「これからのモータースポーツだ」……と一様に新鮮な印象を述べていました。



関係者

心な聴講▶

## 地上4cmのコーナリングは

### 私を夢中にさせた



モーターマガジン編集部

### 三留秀次

プリンス・カートウェイにおいて、ヤマハレッドアローRC 100M・IIに乗る機会を得た。現在発売されている最も完成された「レーシングカート」ということで、初乗りの私に果して本来の性能に見合った試乗ができるか、多少の心配はあった。

一周260メートルのコースを、チャンピオン杉山茂雄選手のリードで二周。これはカートの性格を知るのに必要な最低周回数だった。これでカートのドライビング・ポジションがつかめた。目の位置が非常に低く、さながらフォーミュラマシンからカウルを取ったようなもの、さらにアクセル、ブレーキの各ペダルの位置が一般乗用車と逆なことに、とまどいながら三周目にはいり、徐々にアクセルを踏み込む。ノンテフ、ノンサスの小さなレーシングマシンは、第一コーナーを未熟なテクニッ



▲杉山選手のリードで試走する各専門誌

クをカバーしてくれるようにグリップしてくれた。自信を持ち第二コーナーに入ったとき、スロットルの開けすぎからか、スピンしてしまった。「ヒヤッ」としたものの転倒やエンストもなく、三台の後続カートに抜かれただけで、カートのロードグリップの良さや安全性を感じた。わずかながらドリフトしたな、と感じながらコーナリングしたのは七周目程。なんとなくベテランカートターになったような気がした。

十五周した時点での、RC 100M・IIはパワーのタイムラグもなく、アクセルレスポンスは最高であった。ダブルステム・ステアリングは操舵性を良くしており、そくレースに持ち込めるといっ感じを持たせた。

スタートからストレートそしてコーナーで「ピシッ」と決まるこの小さなマシンは、私を完全に夢中にさせてしまった。12才から男女を問わず楽しめることや年々増加するライセンス所有者の推移から判断しても新しいモータースポーツとしての要素は充分であることとを、今日の発表説明・試乗会から感じた。



# より多くのユーザーをつくる ヤマトライアル教室をひらこう



いわゆる「ツボ」が分かると、フォームもきまってくる。見ていても楽しいもの。

## 利用者心得

1. トライアルコースは実習場としてつくりかたが、各回ごとに更新される。また、雨天時は中止となる。
2. 公道を走行したり、アクセル全開等住民の迷惑を及ぼす行為はしない。整備されたもので練習すること。
3. 練習場には危険なフェンダーを備えたものを使用すること。
4. 新機材は必ず整備した有効なブレーキを備えているもので練習すること。
5. 公道を走行する場合は必ずヘルメットを着用すること。
6. ヘルメットは、練習、競技を問わず乗車の際は必ず着用すること。
7. 練習中の服装は、長袖、長ズボン、手袋、靴等を着用すること。
8. ヘルメットは、練習、競技を問わず乗車の際は必ず着用すること。
9. 練習場を走行する場合は必ず1周から進入すること。
10. その他、管理者の指示に従うこと。

## セクションカードの説明

①入口 ②途中 ③出口

ライダーは同じマークの印をマークと左側にあてて通過する。場合は、セクションカードのカードを踏みこむ。通過の瞬間に通過した時点から、出口のカードを踏みこむ。車両の最後部が通過するまでにする。

ベンルティ  
④セクションに付けるベンルティ  
クリン 0点 足つき1回 1点未満  
足つき2回以上 3点未満 失格  
5点未満 失格 10点未満  
⑤タイムキーセクションによるベンルティ  
スタートの通過1分につき1失格  
発生。発生はスタート時間1分以内に入れた  
場合 失格

## トライアルとは

人間が歩くにも困難な自然のままの地形を舞台に、いかに上手にオートバイを乗りこなすか、操縦技術の信頼性を試す競技がトライアルの本質です。そこで会得される操縦技術と、正しいマナーは日常の運転に役立つモータースポーツです。

当トライアルランド松田を利用するライダーは操縦技術の向上を図るとともに安全運転の規範となるよう努めましょう。

トライアルランド松田は、松田自動車専門学校併設です。  
TEL 0465 (82) 0121 松田自動車専門学校

トライアルランド松田



木村博インストラクターの解説に、じっと耳をかたむける。「オフ・バンク（斜面）の転回、上ってきて、まわって、くだる——というセクション、これがいちばん勉強になります。というのも、加速の度合、減速の度合のアクセルコントロール、そしてバランス、このミックスした技術が必要だからです」



▲ゆっくり、ゆっくりと丸太を越える。タイミングがくると次の丸太が大きく見えてくるから不思議なもの。

◀一日の受講で見間違えるほどの技術の上達ぶり。やはり基礎は大切で、この積み重ねを大切にしなければならない。

新たに「TY125」の登場で、いちだんと充実したヤマハトライアルシリーズにより、トライアル志向のお客さまも増え、各地のトライアル教室も盛んに行われています。

これはトライアルランド松田において行われたヤマハ神奈川後援・アマチュアスポーツライダー主催によるトライアル教室で、ここでは教室のほかにクラブ競技会、そしてシリーズ戦と、技術の上達に見合っただけでそれぞれ楽しめるプログラムを組んで好評です。

この日の教室は、参加予定者の一部のメンバーが都合でこられず、10名での開催となりましたが、逆にこれが好結果を得ました。

というのは、トライアルからトライアルへの時間が短く、くり返しくり返し実技が行え、インストラクターからのアドバイスもすぐに試してみることができるといふことです。

トライアル教室は人気を呼んでいるものだけに、三十人、四十人と集まる場合が多いようですが、このようなときは小グループに分けて、交互にセクションを使っていくという方法をとり、なるべくトライアルからトライアルへの時間を短かくリードしていくことが大切と思われます。この点、この教室は理想的でした。

この日インストラクターをつとめたのは、木村博氏（アマチュアスポーツライダー会長）で、エキスパートクラスのトライアル選手、大古好考ライダーが模範走行を演じました。

内容的にはマシンの点検、準備体操、セクションの読み方、ライディングのコツ、大古ライダーの模範トライアルの順です。全員がクリアーできるのを見て次のセクションにすすむという方法がとられました。

和気あいあいのもと、楽しくお弁当をひろげてトライアル談義はつづいた



ユーザーは語る

## トライアル教室に参加して

三宅広志さん (平塚市田村5668)

野島春男さん (平塚市田村4541)

佐藤正弘さん (平塚市横内3909)

### やってみなければ本当のことは分からない

**三宅さん** はつきりいって、非常によい勉強をさせてもらいました。仲間同士でやると、こんな地形はムリだよ——なんて、ついイージーなセクションしか走らない。テクニクも、なにがセオリーなのか、お互いよく分からないものだから、我流になってしまっし、それを今度はいちいち教えてもらったんですから、またまたトライアルが新鮮なものとなりました。

**野島さん** そうね。いままでやっていたのと同じぶんちがいます。同じ急登坂だって、自分たちでやっていたのと教えられたのでは身体をもっていく場所がぜんぜん違うもの。やはりぼくらがやっていたのは我流だったんだなって分かりますね。

**佐藤さん** やはり、しっかりしたコーチがついていてくれるというのはいいですね。失敗しても、なぜ失敗したのか的確に指摘してくれるので、上達もだんぜんはやい。だから面白さも倍ちがうって感じ。

**三宅さん** 体重の移動で、ぼくら左右のバランスばかり気にしていたけれど、ほんとは前後の移動ができていないとダメなんだ。**野島さん** そうなんだ。だから、急坂をまっすぐ降りるイージーなところでも、すぐ後輪がロックして、横すべりを起す。これは結局後輪に体重をかけていないからなんだ。だから後輪が浮きあがり気味で、ちよつとブレーキをかけてもすぐロックしちゃう。

**佐藤さん** 逆に上りでは、前輪への体重移動ができていないから、すぐ前輪が浮き気味になり、バランスをくずしてしまう。

**野島さん** それと関連してアクセルの開け方

と閉め方のコツ。これをいまままでいかに無造作にやっていたかを痛感した。

**三宅さん** バランスをくずすその一步手前のアクセルワークで、車の立ちをつよめてバランスを保つことができるんだ。

**佐藤さん** そして余力をいかにして乗りこなすこと。急登坂の頂上付近ではアクセルを絞ってもなお登れる体勢。これはいい勉強になりました。ちよつとふつうでは考えられないことですよのね。だからいままでは頂上付近でぶつとんじやったんだ。

**野島さん** それとあの丸太越え。体重の前後移動とアクセルワーク、そしてどこを乗越えるかのルート確保。直角に入らないかぎりほんとにむずかしい。

**三宅さん** 丸太越えが次々とスムーズに乗り越えられれば、ウデはかなり上達します。

**佐藤さん** あのリズム。停まりそうで止めてはいけない。加速がはやすぎても、大きすぎてもいけない。まさにアクセルワークとバランスの世界というところだな。

**野島さん** ただ見ていたんじや分からない。やって初めてむづかしさが分かる。人車一体と、いうはやすしだが行うのはむづかしい。

**佐藤さん** まったく同感。

**野島さん** でも、トライアルってそれだけに楽しい。何回かトライして、これなら大丈夫と思っても、ちよつとバランスをくずすともういけない。常に初心を忘れてはいけないんだ。本当に面白い。

**三宅さん** 今度の競技会が楽しみだな。しかしヤマハでやってもらうときは、レバーなどのパーツ類をもってきて欲しいな。

手応え確かな乗りやすさ

**新発売**

ヤマハトレールDT400  
ヤマハトレールDT250



ヤマハトレールDT400  
チャビイレッド



ヤマハトレールDT250  
ポルトギーズオレンジ



ヤマハトレールDT250  
コンペティションイエロー

オフ・ロードはもとより、オン・ロードでもすぐれた走行性をもつヤマハトレールシリーズに400cc車が登場、また250cc車も乗りやすさを増してモデルチェンジしました。両車とも、市販モトクロッサー、MXをベースとした新型で、全体のスタイルは精かんさの中にもゆたかなファッショニ性を表現し、従来にも増して商品的な魅力を高めています。

ヤマハトレールDT400(上)

ヤマハトレールDT250(下)



DT250

全長	2180mm	発電機型式	FOTO1971(三菱)
全巾	870mm	点火プラグ型式	B-8ES(NGK)
全高	1140mm	キャブレター型式	VM28SS
シート高	815mm	エアクリーナー型式	湿式モルトブレーン
軸間距離	1410mm	一次減速(比)	ギヤ(2.826=65/23)
最低地上高	220mm	二次減速(比)	チェーン(3.142=44/14)
乾燥重量	121kg	クラッチ	湿式多板式
舗装平坦路燃費	40km/ℓ(50km/h)	変速機	5段リターン式
登坂能力	35°	変速比1速	2.250=36/16
最小回転半径	2100mm	変速比2速	1.684=32/19
制動停止距離	15m(50km/h)	変速比3速	1.260=29/23
エンジン	2st. 7ポートトルクインダクション	変速比4速	1.000=26/26
気筒数・排気量	単気筒・246cc	変速比5速	0.793=23/29
内径×行程	70×64mm	フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
圧縮比	6.8:1	キャスト	59° 30'
最高出力	21PS/6000rpm	トレール	135mm
最大トルク	2.5kg-m/5500rpm	タイヤサイズ(前)	3.00-21-4PR
始動方式	プライマリーキック	タイヤサイズ(後)	4.00-18-4PR
点火方式	マグネー	ブレーキ(前後)	機械式ドラム防塵防水式
燃料タンク容量	9ℓ	懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
オイルタンク容量	1.5ℓ	懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)	ヘッドランプ	6V35/35W
バッテリー容量	6V4AH	テール/ストップランプ	6V5.3/17W
バッテリー型式	6N4B-2A/6N4B-2A-3	フラッシュランプ	6V17W
発電機種類	フライホイールマグネー	パイロットランプ	6V3W

DT400

全長	2180mm	発電機型式	FOTO2173(三菱)
全巾	870mm	点火プラグ型式	B-9ES(NGK)
全高	1140mm	キャブレター型式	VM32SS
シート高	815mm	エアクリーナー型式	湿式モルトブレーン
軸間距離	1410mm	一次減速(比)	ギヤ(2.666=64/24)
最低地上高	220mm	二次減速(比)	チェーン(2.857=40/14)
乾燥重量	124kg	クラッチ	湿式多板式
舗装平坦路燃費	35km/ℓ(50km/h)	変速機	5段リターン式
登坂能力	35°	変速比1速	2.250=36/16
最小回転半径	2100mm	変速比2速	1.684=32/19
制動停止距離	15m(50km/h)	変速比3速	1.260=29/23
エンジン	2st. 7ポートトルクインダクション	変速比4速	1.000=26/26
気筒数・排気量	単気筒・397cc	変速比5速	0.793=23/29
内径×行程	85×70mm	フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
圧縮比	6.4:1	キャスト	59° 30'
最高出力	27PS/5000rpm	トレール	135mm
最大トルク	3.8kg-m/5000rpm	タイヤサイズ(前)	3.00-21-4PR
始動方式	プライマリーキック	タイヤサイズ(後)	4.00-18-4PR
点火方式	CDI	ブレーキ(前後)	機械式ドラム防塵防水式
燃料タンク容量	9ℓ	懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
オイルタンク容量	1.5ℓ	懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)	ヘッドランプ	6V35/35W
バッテリー容量	6V4AH	テール/ストップランプ	6V5.3/17W
バッテリー型式	6N4B-2A/6N4B-2A-3	フラッシュランプ	6V17W
発電機種類	自動進角付フライホイールマグネー	パイロットランプ	6V/3W



# 手応え確かな乗りやすさ

## 新発売 ヤマハトレールDT400 ヤマハトレールDT250

### ●パワー競争から脱皮した新型

新たに登場した「DT400」は、トレールモデル最大型としてフル・サイズ400の新しいエンジンをのせたものです。単気筒としても最大の排気量(397cc)をもつこのエンジンは回転を高めて最高出力をかせぐというピーキーな性格をおさえ、低中速で力づよく、神経質なギヤ・チェンジを必要としない扱いやすさを重視した設計としてあります。

この性格は「DT250」のエンジン(246cc)においても同様で、より乗りやすいトレールモデルの出現に全力を注ぎました。いわばパワー競争から脱皮した新型の登場です。

もちろん両モデルともその構造はヤマハの誇る7ポート・トルクインダクション方式の2サイクルで、ピストン・リードバルブはすぐれた吸入効率を生みだす6枚構成とし、低速から強力なトルクを生みだすものとしています。これに軽量の車体重量(DT400=124kg、DT250=121kg)、そして適切なギヤ・レシオをもった5段変速機(1ダウン4アップ)の組合せが、アクセルワークに応答性のよいきわめてシャープな加速性能をもたらしています。

### ●ネバリづよさ増したラジアル・フィン

新設計のエンジンは、さきに発売されたYZ250と同様にシリンダーヘッドフィンを放射状に、すなわちラジアルに配し、よりすぐれた冷却効果を生みだすものとなりました。加えて潤滑はヤマハオートループにより能率的に行われます。これらによって「DT400/

DT250」のエンジンは、長時間の連続使用においても“たれ”をみせず、安定した性能をもって安全運転を維持できるものとしています。なお、「DT400」においては自動進角装置付のCDI点火方式を採用、またキッククラックと連動のデ・コンプ装置を設け、ビッグ・シングル特有の始動時におけるケッチンを防止、容易な始動性を確保しています。

### ●乗りやすさ本位の車体構成

フレームはすでに定評を得ている高張力鋼管使用のダブルクレードル型で、ヤマハが初めて市販車に採用したセンターアップ方式の排気系とおりなす車体構成は乗りやすさ本位のスリムなライディングポジションをかたちづくっています。とくにニューデザインの燃料タンクとシートとのマッチングに意を払い、エンジン側にふかく折りたためるキッククラックと共にオフ・ロード走行における自在なライディングフォームも無理なくとれるものとして特有の乗りやすさを高めています。

### ●重量軽減が生みだす走行性能の向上

ラジアル・フィンのシリンダーヘッドの取付けは、シリンダーに対して単独に締付けるタイプで性能面の安定および整備性のよさをもち、ともにアルミであるほか、ブラック仕上げのクラックケースカバーはとくにマグネシウム製として重量の軽減を図っています。

このほか高張力鋼管使用のフレーム、ポリプロピレン製のフロントフェンダーおよびコニカル(円すい)ハブの採用は、より軽く、より強くを目的とする市販モトクロスカーY

Zの技術を受継ぐもので、とくにコニカルハブの採用はブレーキドラムの大型化(160mm径)を果し、なおバネ下重量を軽量化、フロントフォーク・クッションの減衰特性を向上させ、オフ・ロードの連続走行にも安定したダンパー性能を保つサーマルフロー付リヤ・クッションと共に、格段にすぐれた走行性能を生みだしています。

### ●きめ細かな安全対策の実施

そのほか燃料タンクキャップは急激なショックにもつよいネジ式とし、キーロック付となっています。またフロントブレーキ、クラッチのレバー基部にはダストカバーを設けるなど、細かい面での配慮も加えました。ほかに夜間でも見やすいセパレートメーター(速度計/エンジン回転計)、ハイビーム、速度警告灯、フラッシャー、ニュートラルのインジケータランプ、被視認性の高いフラッシャーランプやストップランプ、防塵防水式の強力な前後輪ブレーキなど、数多くの安全対策をもちこんであります。

整備性を高めた横開きロック付のダブルシートの下にはヘルメットハンガーをもち、また改良を加えたサイレンサーにより、排気音は従来に増して低くしてあるなど、総合的に乗りやすさ、使いやすさを高めています。





速報!

# デイトナ4連覇、16位まで独占!

疾風のヤマハTZ750R/YZR750群

⑧ スチーブ・マックローリン (個人、TZ750R、5位入賞) をしたがえて、インフィールドのタイトコーナーを通過するジーン・ロメロ (YIC、TZ750R、優勝)



▲瞬時に給油を終えて再スタートにつくG・ロメロ。1周3.84マイル(6.144km)を52ラップして“デイトナ200”の勝者がさまる。

◀G・アゴスチーニ(YZR750)に次いで最終周まで5位を確保していた⑥河崎裕之(YZR750、7位)。⑨は5位入賞のワレン・ウィリング(TZ750R)。⑩は13周でリタイヤした阿部考夫(カワサキ)。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 6万5千の観衆の熱い視線を浴びて6ラップを第3位で走るG・アゴスチーニ

三月九日、アメリカ・フロリダ州デイトナ国際スピードウェイで行われた恒例の第34回「デイトナ200マイルレース」(FIM750)で、ヤマハTZ750Rに乗るG・ロメロ(YIC)が平均時速一〇六・四五一マイル(一七二・二七九km/h)の新記録を樹立して優勝、ヤマハは国際イベントの幕開けとなるこのレースに、四年連続して勝利の栄冠を獲得した。

また2位には若冠18才のS・ベーカー(ヤマハカナダ)、3位にベネズエラのジョニー・セコット(ベネモトス社)、四位にG・アゴスチーニ、そして初挑戦の河崎裕之が7位に入るなどヤマハ車のライダーは1位から16位を占める圧倒的な勝利をおさめた。惜しまれたのは全米ナンパーワン・ライダー、ケニー・ロバーツ(YIC)で、YZR750を駆って一周三・八四マイルを2分04秒44(一一・〇八九マイル/時)一七八・七四二km/hの驚異的なラップ記録を樹立してポールポジションを獲得、四週目からトップを独走したが、マシン・トラブルのためリタイヤを余儀なくされたことである。

それにしてもこのレース、まさにヤマハのオンパレードとなったが、その安定した技術力には多くの専門家の賞讃の声があつまり、地元YIC(ヤマハインターナショナル)の喜びもまたひとしおであった。

優勝したG・ロメロは、昨年のレースではTZ750で6位に入賞しているが、一時間連続走行記録では一五〇・八四マイル/h(二四二・七五km/h)の新記録を樹立しているタイトルホルダーでもある。



デイトナスピードウィークにはモトクロスもある。コース脇を会場に熱戦の展開



「デイトナ200」の前に行われた100マイルジュニアエキスパートでトップを独走するK・ロバーツ(TZ250)

この「デイトナ200マイルレース」は一週間の日程で行われるデイトナスピードウィークのメインイベントとして最終日に行われる全米最大のスピード競技の祭典で、地元アメリカはもとより、カナダ、南米、ヨーロッパ、そして日本からも著名なスターライダーが参加し、年々人気を高めてきている。

このレースは賞金の多額(総額六万七千ドル)なことでも有名で、一位のG・ロメロは一万七四八五ドルの賞金を獲得した。またこの日あつまった観客は六万五千を数える新記録であった。

デイトナの次はいよいよ世界選手権ロードレースの開幕となり、三月二十八日から三十日にかけてフランスで第一戦がはじまり、次いで四月六日に、イタリア「イモラ200」でFIM750の第二戦となる。ヤマハ車ライダーの活躍が期待されるところだ。

## ミック健闘！ '75世界選手権トライアル

今年から世界選手権に昇格したオブザベシヨントライアルは、2月15日のアイルランド戦で開幕したが、ブルタコ、モンテサ、オッサなど、実戦歴豊かなスペイン勢に伍して、ヤマハの名手ミック・アンドリュウスの健闘が続いている。

アイルランドでは、マシンの調整がまだ十分

でなくて完走できなかったが、次のベルギー(2月20日)では8位、3戦目のスペイン(3月2日)では4位と、マシンとともにミック自身の体調も整いつつある。

ミックのこれからの追い込みが期待されるが、目下タイトル争いは、ブルタコのベテランM・ランプキンがリードしている。

全日本選手権シリーズはじまる

# ヤマハ、破竹の全クラス制覇

## 新技術のワークスマシーンも登場

全日本モトクロス選手権シリーズ第一戦所沢大会



豪快なライディングで圧倒的なつよさをみせつけた鈴木秀明（セニア250cc級）



トップを独走する杉尾良文（セニア125cc級）

今年度のモータースポーツの本格的な幕開けを告げる75MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第一戦所沢大会は、埼玉県所沢市の特設会場を舞台に三月八日、九日の二日間にわたって開催された。

今シーズンのレースを占う意味で注目されたこの第一戦の展開は、MX、YZ、YZMなど、まさしくヤマハ勢の破竹の快進撃に終始し、ノビス、ジュニア、エキスパートジュニア、セニアの四部門10レースすべての優勝を独占、全日本選手権シリーズで初の快挙をなすと、あつまった五千の観衆に、さすがヤマハの印象をつよくうえつけると共に数々の貴重な技術成果をおさめた。

またこの所沢大会でヤマハの新技術がまたまた大きな衝撃を与えた。その一つは世界でも初めての試みである水冷エンジン搭載のモトクロス「YZM125」の登場であり、いま

### レース結果

●セニア 二五〇cc (30分+2周、2ヒート)	優勝 鈴木秀明 ヤマハ
2位 鈴木都良夫 ヤマハ	
3位 渡辺 明 スズキ	
●セニア 一二五cc (40分+2周)	優勝 杉尾良文 ヤマハ
2位 瀬尾勝彦 ヤマハ	
3位 小田切信夫 スズキ	
●エキスパート・J 二五〇cc (30分+2周)	優勝 東福寺保雄 ヤマハ
2位 小坂光史 カワサキ	
3位 佐藤和男 ホンダ	
●エキスパート・J 一二五cc (30分+2周)	優勝 東福寺保雄 ヤマハ
2位 古田哲郎 ヤマハ	
3位 大賀広美 ヤマハ	
●ジュニア 二五〇cc (15分+2周)	優勝 出崎正彦 ヤマハ
2位 北村隆資 ヤマハ	
3位 大友澄男 スズキ	
●ジュニア 一二五cc (15分+2周)	優勝 佐藤広美 ヤマハ
2位 ジョニー・R ヤマハ	
3位 山本秀人 ヤマハ	
●ジュニア 九〇cc (15分+2周)	優勝 北村隆資 ヤマハ
2位 大友澄男 スズキ	
3位 我満昭 ヤマハ	
●ノビス 二五〇cc (10分+2周)	優勝 石神 寛 ヤマハ
2位 平沢富夫 ヤマハ	
3位 山本明夫 ヤマハ	
●ノビス 一二五cc (10分+2周)	優勝 石神 寛 ヤマハ
2位 金沢光章 ヤマハ	
3位 大内康夫 ヤマハ	
●ノビス 九〇cc (10分+2周)	優勝 太田英男 ヤマハ
2位 塚本喜好 ヤマハ	
3位 金沢光章 ヤマハ	

一つはガス・フロントフォークを採用した、「YZM250」の出走である。

成績はともに2位を得たが、レース内容は優にトップに達するどころから、この新技術の成果はきわめて高く評価されてよい。「YZM125」の水冷エンジン車は、フロントフォークの上部セッティングプレート裏側に小

# 大月信和(TY125)2位 木村治男が逆転優勝をきめる

トライアル・チャンピオンシップ・  
シリーズ第2戦(鈴鹿)



新開発の水冷YZM125で奮闘した瀬尾勝彦

M X 90勢のトップ争い  
(ノービス90cc級)



スペシャル・ステージ最後のロック・セクションで木村治男のテクニックを見守る大観衆

8ラウンドを組んで今年度トライアルの王座を競う「75トライアル・チャンピオンシップ・シリーズ第2戦」は二月二十三日、三重県鈴鹿サーキットで行われ、前チャンピオンの木村治男(YTT)がひさびさに本領を発揮、チームメイトの大月信和とはげしくBP(ベストパフォーマンス)を争い、結局スベシャルセクションの競り合いに勝って、今年度初の栄冠を獲得した。

この日、中部地方としては数年ぶりの大雪に見舞われ、11セクション・2ラップ+3スベシャルセクションのステージは、午前中が雪、午後は雪どけのマディ・セクションとなつて、エキスパートクラス四十三名の各選手はいずれも苦戦をしいられたが、この中でもとくにめざましい技術の上達ぶりをみせたのは新発売「ヤマハトライアルTY125」に乗る大月信和で、11セクション・2ラップを終わって次位木村治男に3点差でトップを保っていた。残るはスペシャルステージの3セクションである。

ここで大月信和は、トップでトライしたが

## ヤマハ車ライダー大活躍

### 全日本ロードレース選手権シリーズ第一戦筑波大会

セクション外走行という思わぬミスをおかして大きく後退、いっぽう木村治男は堅実に3セクションをクリアし、みごと優勝を果すと共に、ベストクリーン(17)賞をも合わせ

て獲得した。ランナーアップは大月信和で、このあとに加藤文博、万沢康夫、川崎和寛とつづき、現チャンピオンの近藤博志については調子をだしきれず8位に終わった。

全日本ロードレース選手権シリーズ第一戦「筑波モーターサイクル・グレートレース」は3月15・16日(日曜日)の両日、茨城県の筑波サーキットで行われたが、ヤマハ車勢は7レース中6種目を制した。

彼岸の入りも間近にせまったとはいえ、薄曇りの空、冷い筑波おろしの吹く中、約二五〇〇人の熱心なファンが見守るうちに、総参加台数一四五台のマシンとライダーが熱戦をくり広げた。

第一目にノービス90cc、125cc、250ccおよびジュニア90、125ccの各レースで順調に勝利を重ねたヤマハは、二日目もジュニア250、350ccで萩原淳司選手が、エキスパートジュニア・セニア125ccでは石井康男選手がそれぞれ愛用のTZで優勝、前週の所沢におけるモトクロス第一戦に続きロード第一戦でもヤマハ車の全勝かと思われた。

注目の最終レース、エキスパートジュニア・セニア750cc級決勝は、金谷、河崎、高井など主力選手の不出場でいく分さびしいレースではあったが、プリンス片山と清原明彦のデ

型ラジエータを装備、ここから二本のバイプがクランクケース右に連結して水冷を果すもので、ゼッケンプレートは通風を考慮して網目となっている。また水量を少くするためにシリンドラー、シリンドラーヘッドとも冷却フィンはつけている。

もちろんこの技術のねらいは冷却効率の向上による性能アップで、とくに熱によるエンジンの「たれ」現象を減少させ、性能の安定

を図ると同時に実質的な出力アップをひきだすもの。

また「YZM250」のガス・フロントフォークは、モノクロスサスペンションと同様に窒素ガスを高圧封入することでダンパーオイルの温度上昇およびオイル拡散などから派生する減衰力低下を防止することを目的としてスムーズなクッション動作を得られるようにしたものである。



片山敬済(TZ350)はこのリードを最後まで保てず清原明彦(KR750)に勝利をゆずった

山内一豊の妻、「お千代さん」に代表される「内助の功」(妻は夫を助けつつ……)も、時代とともにその姿、かたちは変わりつつあるようです。

このページは、全国のヤマハ販売店の奥さまをお訪ねし、「わたしの内助論」「女房としてのわたしの幸せ」を語っていただくもの。さて、あなたはどんな「奥さま」でしょうか。乞う自薦他薦。

## わが 「内助の功」

もう18年、無我夢中でやってきたという感じ  
です。  
わたくしの取り得はひと言でいえた「丈夫  
で長もち」といったところでしょうか。実家  
がお米屋で、商家に育ったせいも、子供の頃  
からお店を手伝うということがあたりまえの  
ようになっていました。娘の頃、お友だちか

## 真心こめてまめに働く

伊藤厚子さん(38才)(伊藤兄弟商会・伊藤勝己夫人)

ら、「あまり差をつけなくて、あなたがあま  
り働きすぎるから、うちの人にあなたとす  
ぐ比較され、小言をいわれて困る」と、よく  
苦情をいわれたものでした。  
主人は7人兄弟の長男、わたくしが嫁いで  
きた時はすでにお父さんは亡くなっており、  
一家を支えねばならぬと、いへんでした。家事  
とお店の仕事で寝る暇もない忙しさが続きま



した。お店の仕事といっても、販売や修理を  
するわけではありません。そのかわり、主人  
をはじめ男の人ではできないような仕事を、  
わたくしなりに一生けんめいしてきたと自負  
しています。それは、お客さまに対するやさ  
しい心づかい、「まごころ」をこめてお客さ  
まに接してきたということです。例をあげれ  
ば、寒いときバイクに乗ってお店にくるお客  
さまたちは、風にさらされてくるわけですが  
ら、さぞ冷たかろう、きつと熱いお茶が飲み  
たかろうと思いい、お茶のサービスを欠かさず  
してきました。お茶がぜんざいにかわること  
もありませんが、「たった一杯のお茶」をばかに  
してはいけないと思います。こうした小さな  
心づかい、小さなサービスこそ大切ではない  
でしょうか。

土地柄、親兄弟とはなれ、会社の寮で一人  
で生活している若いお客さまも多勢みえます。  
せめてお店にいる間だけでもその人たちのお  
母さんになったような気持であたたかく接し  
ているつもりです。

事務、経理のほかに、集金、銀行、お役所  
と外廻りの仕事もあり、今でも忙しさに変わ  
りはありません。去年の9月に用品部を設け、  
その仕入、管理、販売もわたくしの仕事です。  
でも最近では、仕事に喜びというか、ハリを感じ  
るようになってきました。心の余裕もできてきた  
のでしようね。高一の男の子を筆頭に4人の  
子供がおり、主人の兄弟も多いので大家族、  
なにかと大変ですが、おかげでおばあちゃん  
が健在ですので、家事の方を受けもってもら

用品の仕入れ、管理も重要な仕事です。用品  
部となりの事務所のさかいの引戸は姿見を  
かねている。これは奥さまのアイデア



# 天気の良い日は バイクに乗ろう

# ヤマハ 奥さま



## 奥さまにとっていま大事なことは

陽気のよい季節となりました。北国の販売店さまも、日一日と春めいてお店の活気も一段と増してきたことでしょう。——天気の良い日はバイクに乗ろう——昨年来ヤマハが提唱してきているこの言葉がより身近かに感じられる春の全国的な幕開けです。

☆ ☆ ☆

バイクの売れるこのシーズンを迎えて、ご主人さまをはじめお店の方々も、いかに大きなご商売を果すか、それぞれに特色を生かしてのセールスキャンペーンをお考えのことでしょう。もっか各地で行われている「春のヤマハ祭り・フラワーキャンペーン」。もその一環として行われているものですが、奥さま方にとっていまでもっとも大切なこ

とは、家事・育児の主婦業を手際よく行い、お店の中核をなすみなさまの健康管理にお気を配ることでしょう。

春は陽気のよさからつい夜更かしをしてしまったり、また新入学、進学のお子さまも新しい環境になじめなかったり、神経の使いすぎから、つい身体のコンディションをくずしがちです。また春はおそろしい食中毒にも気をつけねばなりません。

家事・育児に忙しい主婦業に加え、お店のよきアドバイザーでもなければならぬ奥さま方にとって、毎日の生活はけっして生やさしいものではないでしょうが、そっ先して仕事にはげみ、奥さまも子どもお店のみなさまの健康管理を配り、明るいお店を築くよう心がけてください。

い、たまには留守番もしていただいで、最近  
は、夏はヨットを、冬はスキーを主人、子供  
とともに楽しんでます。お互いが感謝し合  
う気持ち大切ですね。  
こんなわけで、わたくしにできることは精  
一杯やっています。でも寄る年なみには適わ  
ぬもの、たまに主人のいつけをすっかり忘  
れてしまい『もう更年期障害か』などといわ

れます。お店にみえてくださるお客さまにと  
っても、わたくしみたいな中年より、若くて  
愛らし娘さんがいれば、お店にくる張り合い  
もあろうと思います。冗談ではなく、どこか  
に可愛い気だてのよい娘さんはいませんか  
ね。そんな方がいたらぜひ紹介してください。  
よろしくお願いします。』

愛知県瀬戸市陶原町三二七

## 明るい春だから……



冬の弱い陽ざしとちがって春をむかえたこ  
れからは、店内にも明るさがよみがえり、い  
ままで暗かったために目立たなかったところ  
の汚れや、雑然とした部分がお客さまの目  
に入りやすくなります。たとえ、お店が古く  
も、造りが贅沢でなくても、きれいに清掃さ  
れ、きちんと整頓されたお店は、訪れるお客  
さまにとって感じがよいことはいまでもあ  
りません。これは単にお客さまに好感を与え  
るだけでなく、きれいな職場で働くというこ  
とは、ご主人さま、お店の従業員さんにとっ  
てもまた気持ちよいものです。作業の能率も  
よくなるというものです。  
「オートバイ販売店は、油やぼろきれなどで  
汚れやすいもの、多少きたなくても仕方がな  
い」と考えているとすれば、それは大きな間  
違いです。「汚れやすいもの、だからこそ、常  
に清掃を行い整頓に心懸けよう」と考えてく  
ださい。お店は外観の美しさだけではありま  
せん。奥さまのちよつとした心づかいと、わ  
ずかな労力が、店内を見ちがえるようにきれ  
いにします。お客さまを気持ちよく迎え入れる  
条件を備えたいなお店とそうでないお店  
とでは、売り上げの面でも差がでてきます。  
お店のみなさまの協力を得ていますぐ、でき  
るところからお店をきれいにしていきます。

## とかし方がポイント



食品を常温より低い温度にすることで、長  
期間の貯蔵ができることは、昔の人の生活の  
知恵にもなっていました。こうしたことが一  
歩すすんで、食品を作ったままの状態でも何カ  
月も保存できるようにしたのが、「冷凍食品」  
です。私たちの食生活のなかに浸透してきた  
冷凍食品のじょうずな使いこなし方についで  
ちよつと一言。  
冷凍食品を買うとき、霜が少なくカチカチ  
に凍っているものを選ぶことが第一条件です。  
さらに、おいしく食べるための解凍法（もど  
し方）がポイントになります。  
①低温解凍——魚貝、肉などの生のもの、味を  
そこなわなくてもどすのにはこの方法で。包  
装のまま冷蔵庫の下段に移し、六〜七時間で  
ちよつとよいでしょう。また、さしみ用のイ  
カや天ぷら用のエビやイカはタオル地の布巾  
で包んで同様の方法をとり、水ぼくならず  
にもどります。  
②自然解凍——むきエビは、味が逃げやすいの  
で時間をかけてもどす自然解凍が一番。包装  
のまま涼しいところで。  
③流水解凍——早く解凍できますが、水道の水  
が直接食品に触れないようにします。  
いずれの場合も、もどしすぎないで半解凍  
になったら、すぐに調理するのがコツです。



# すばらしい私の商売

藤田自転車商会 (福井県小浜市北長町)

藤田美耶子社長



正確で要領のよい整備を——藤田美耶子さん

昨年三月からヤマハ本社前のテクニカルセンター磐田で行われている好評の「ヤマハ技術講習会」に、初めて女性の受講者が参加しました。福井県小浜市でヤマハフレンド店藤田自転車商会を経営するヤマハ奥さまの藤田美耶子さんです。

藤田美耶子さんについては昨年六月号の「ヤマハ奥さま」でご紹介していますが、二人のお子さまから手をはなれ、主婦業に専念するようになったのはじめてご主人からお店をひきつぎ、以来十年間ご主人の助けをかりずに独自の方針でお店を経営してきている人です。

「私がバイクとあぶらという普通の奥さまの仕事とは一風変わったことに足をふみ入れたのは、なにも主人が病気になるたり人手が不足したからではなかったのです。二人の子供にさほど手がかからなくなり、自分の時間が少しでも持てるようになって、主婦業だけというものになにか退屈さを感じたからなんです。これがこの商売に入った動機といえは動機ということになりますね」

こうして本格的に商売に取組むようになってからは、主人や子供に笑われるようなことはしたくないと、毎日が勉強の日々だったと

います。こうした美耶子さんの真じめな態度に、ご主人さまはもとより、出入りのお客さまも当初はびっくりしたらしい。しかし美耶子さんの仕事ぶりが板につくにつれ、周囲の人の驚きも賞賛にかわってしまいました。

そして、今回の技術講習会の受講です。周囲の人はあらためて美耶子さんの仕事に打込む姿に驚かされたというわけです。

こうしてお店から送りだされた美耶子さんが受講したのは三日間にわたる「2サイクル・メイトコース」でした。

## ■メイトクラスなら藤田へ

「十年間も仕事を続けていると、自分の仕事の欠点にもやっと気がつきだし、またたまには男まさりの仕事をしたと、一人で満足するようになったことも、ままありました。でも、所せんは《女なんだ》という実感をピリッと感じるんですネ。たとえば、750ccなど大排気量車を販売してみたり修理したいと思うときがあります、それが試乗できるだけのテクニツクがなかったり、エンジンを下ろすだけの力がなかったりしたときは正直に言っ(男

だつたらナァ、もっと大きな仕事ができるのに」と思っています。でもそれができないならいま、おもに扱っているメイトクラスの修理なら藤田さんに、と言われるまでになろうと、そう思いこれまで努力してきました」

仕事をはなれたときの美耶子さんは常に魅力ある女性であることを忘れないように心がけています。婦人会やPTAにはなんとか時間を作って出席、そしてもっとも大切な「妻・母親」としての責任は果すようにつとめています。

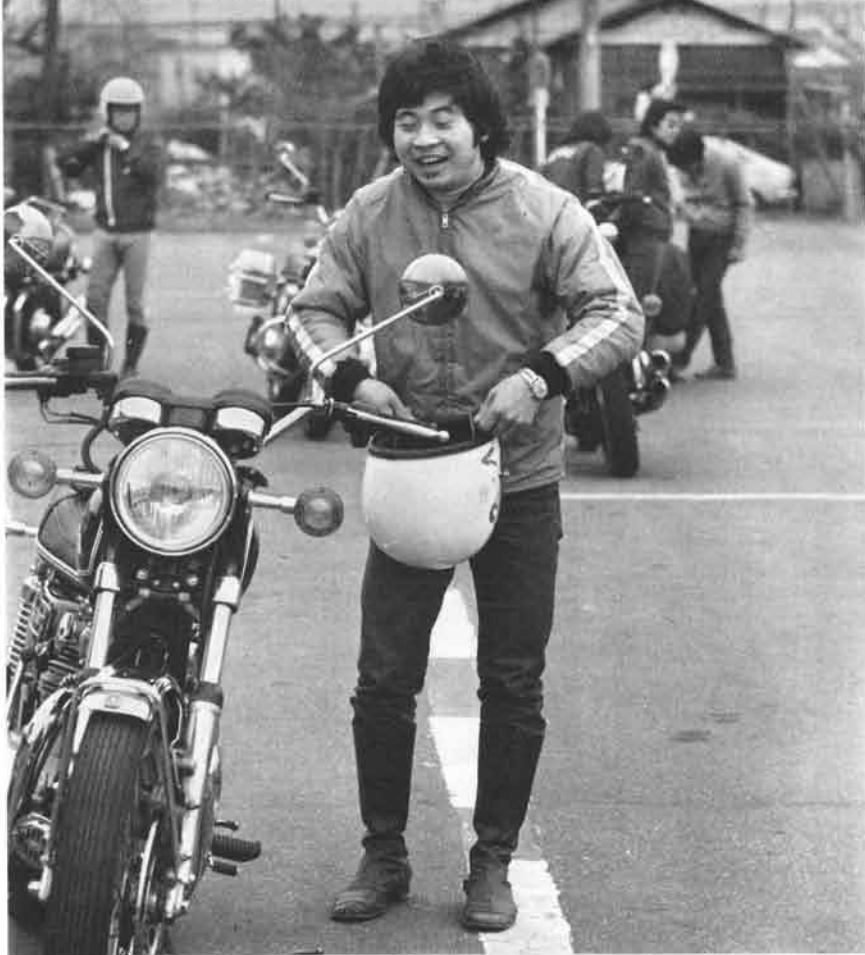
## ■講習会を受けてみて……

技術講習会を受けた動機を、美耶子さんは「自分自身の技術に一層の磨きをかけたい」との気持からといます。そして実際に受講しての感想を「これまで私は、女性らしい整備をしてきたつもりでした。ネジ一つでも山を崩さないようにしたり……、でも技術に磨きをかけられるということは、基礎が完全にできている技術にだけ通用することが、きょうわかりました。確かに女性らしい細かな神



基礎が身につけていてこそ技術に磨きかけられる——技術講習会は本当に役立った





熱意あふれた美耶子さんの受講態度に感服しました——宮本主任講師

こと  
こと  
あんな  
あんな

## 二輪の本来の楽しさはお店と協力してつくりたい!!

二輪車の安全かつ正確な運転技術を、最上級の一級から五級までに分け、二輪車安全運転推進委員会が公的にランクづけする。級別審査があります。今月の「こと・あんなこと」は、「二輪車の楽しさ」は「安全運転」から……と自分の運転技量を知るために、販売店さんから知らされた級別審査を受け、みごと数少ない三級に合格した、ヤマハユーザー河野宏さん。

「三級という技量は、決して特別のものではありません。免許を取ったときの初心を忘れないこと、そして運転に必要な最低条件である、ヘルメット、手袋そして靴はどんなときでも着用しています。僕が行っている販売店には、ツーリング・クラブがあります。全員の級別審査を受けています。クラブ作りと安全は販売店の協力があってこそ、はじめたなりたつものだと思います。ツーリングクラブに限らず、モトクロスやトライアルなどのクラブに参加して二輪車を楽しんでいけば、反分子といわれる不心得者も、出なくなると思います。17才と18才のときモトクロスを通して知ったオートバイテクニクと楽しさが、きょうの僕の安全運転を生んでくれたと信じています。」

最後に級別審査のテスト内容を河野さんに聞いてみました。「級別審査の日程については、

経のいきとどいた整備も必要でしょうけれど、一番大切な「正確で要領のよい整備」これを覚えて帰ることにしました」と語る隣りで、講習担当の、ヤマハ発動機営業技術課の宮本主任は、「藤田さんの整備を見ていて、感心するのは分解した部品を、キッチンと並べること、工具を大切に使うこと、これらは普通の男の人がついウツカリすることです。そして物事を一つ洩らさず修得しようとする熱心さと誠意に感心します。立派に販売店を経営されている藤田さんを目のあたりに見た感じですよ。」

いま、一番の楽しみといえば、中学二年の息子さんが一人前のエンジンニアになること、と目を細めながら、子供さんの将来を語る美耶子さんは、やはり普通の「ヤマハ奥さま」でした。

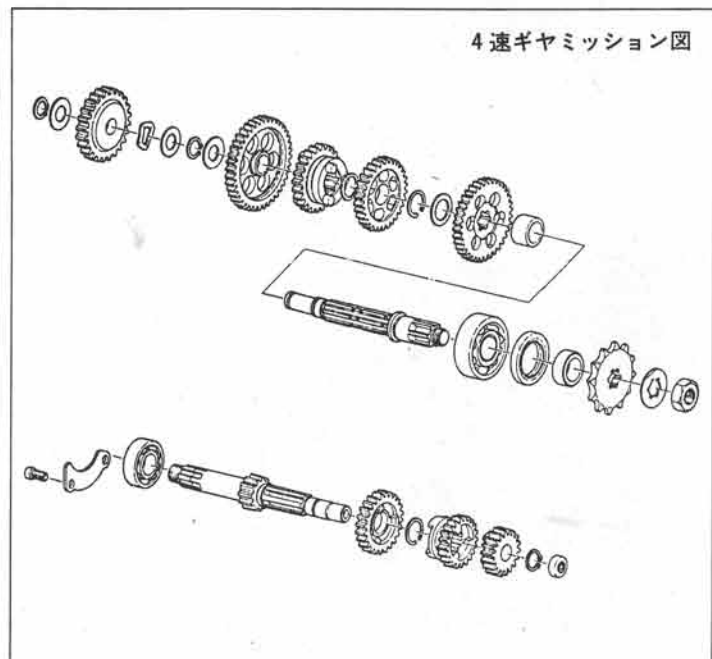
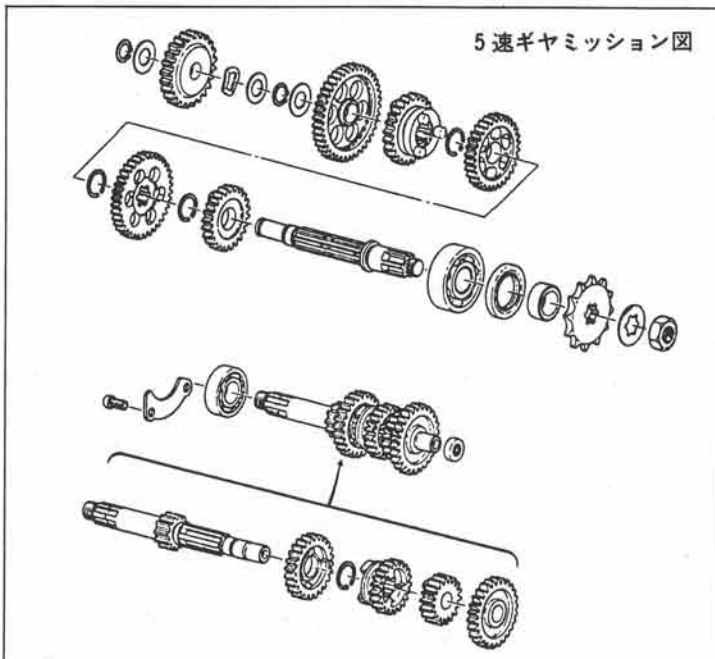
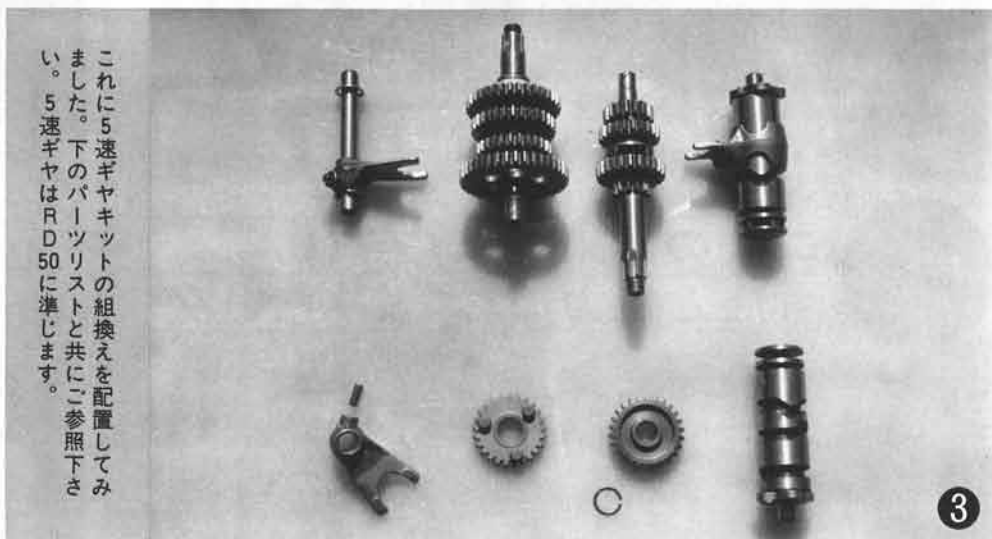
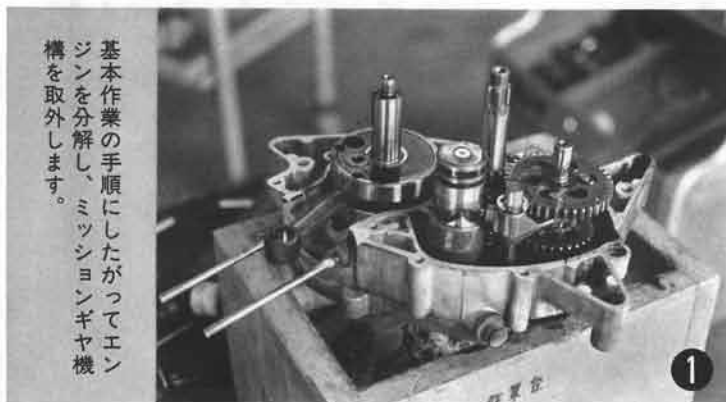
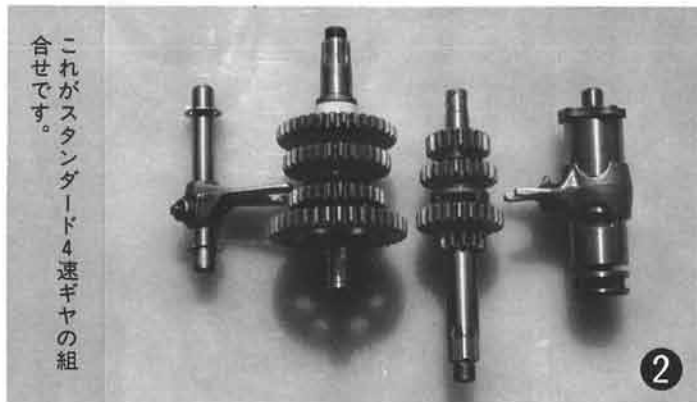


ヤマハ・ユーザー 河野 宏さん  
横浜市鶴見区仲通1-55-6

各地の二輪車安全運転推進委員会あるいは二輪販売店です。僕は神奈川県二輪車安全運転推進委員会によるもので、二輪の講習コースで、一本橋・バイロン走行、ブレーキ操作など運転技能、そして乗車姿勢や法規履行などに渡って審査されました。認定証と級別ステッカーは、僕をセフティライダーとして、いつも監視していてくれますよ。

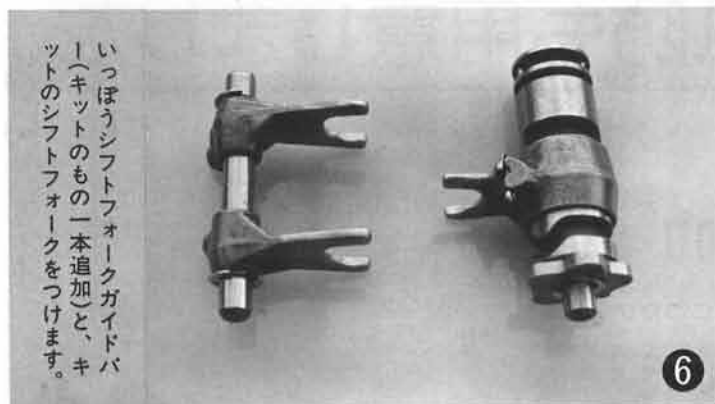
早く一級に合格できるように、さらに安全運転と技術の修練に励みます。」

# mini GT50 GT80 5速ギヤの組み方





本誌前号でご案内いたしました「ヤマハミニGT50/GT80」のオプションパーツ「5速ギヤキット」(運輸省認定済)を使って実際に5速ギヤをセットしてみました。これはその作業手順のあらましです。



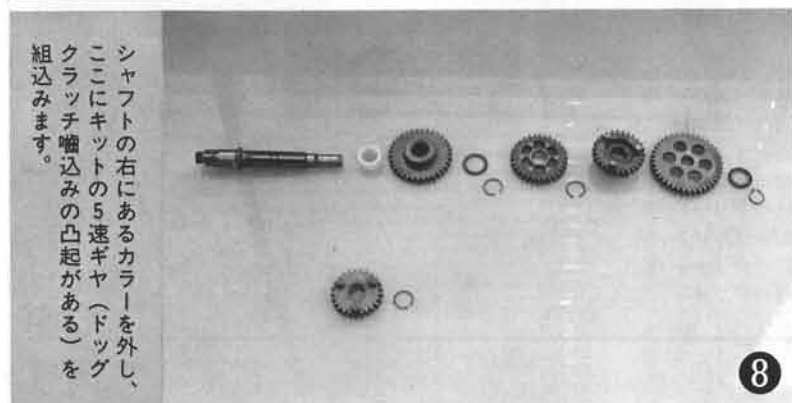
いっぽうシフトフォークガイドバー(キットのもの一本追加)と、キットのシフトフォークをつけます。

6



4速シフトドラムのダウエルピン同シフトドラムサイドプレート、平頭スクリューを流用して組立てます。

5



シャフトの右にあるカラーを外し、ここにキットの5速ギヤ(ドッグクラッチ噛込みの凸起がある)を組み込みます。

8



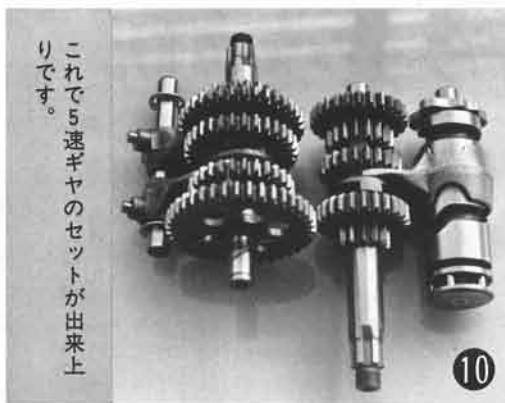
ドライブアクスル側のギヤを外します。

7



ギヤの噛合い、シフトフォークの配置にご注意。

11



これで5速ギヤのセットが出来上ります。

10



メインアクスル側のギヤはセカンドピニオンギヤのサークリップを外して圧入します。

9



いよいよ組み込みです。なお、キットにはクラシクケースカバーガスケットがついておりますが、シリンドラーヘッド、シリンドラーのガスケットも新品とつけ換えることが肝要です。

12

部品部からのお知らせ

## 新型ヘルメットを追加 デラックス風防も用意しました

### 新発売 ヤマハヘルメット CS-500

ヘルメットをかぶろう——これはバイクを乗る人の合言葉。このたびヤマハでは、ジェット型の普及タイプとしてCS-500を追加しました。色は白、オレンジ、イエロー、グリーンの4色で、サイズはそれぞれS、M、L、XLの4サイズがそろっています。小売り価格は6,500円。JIS1種合格品です。

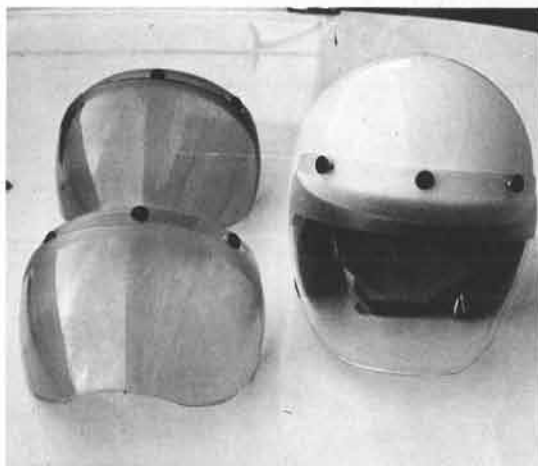
- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ●部品番号 90890-51153=白/S | 90890-51161=イエロー/S  |
| 90890-51154=白/M       | 90890-51162=イエロー/M  |
| 90890-51155=白/L       | 90890-51163=イエロー/L  |
| 90890-51156=白/XL      | 90890-51164=イエロー/XL |
| 90890-51157=オレンジ/S    | 90890-51165=グリーン/S  |
| 90890-51158=オレンジ/M    | 90890-51166=グリーン/M  |
| 90890-51159=オレンジ/L    | 90890-51167=グリーン/L  |
| 90890-51160=オレンジ/XL   | 90890-51168=グリーン/XL |



### 新発売 ヘルメットデラックス風防

割れない性質をもったポリカーボネイド製のヘルメット風防で、上面には上部からの反射がないよう無反射仕上げとしたデラックス仕上げで、色は透明のほかブルー、イエローの3タイプがあり、ヤマハヘルメット以外にもご使用いただけます。価格は1枚1,900円。3色15枚入りの化粧袋入りのセットでお店に飾れるようご用意いたします。

- |                   |      |
|-------------------|------|
| ●部品番号 90890-51149 | クリアー |
| 90890-51150       | ブルー  |
| 90890-51151       | イエロー |



### 海沿いにもつよいバスケット

すでにご好評いただいておりますヤマハメイト、ヤマハオートマチックメイト、ヤマハチャビイ、ヤマハジッピー用のフロントバスケットに、白のビニールコーティングを施した特別仕上げのものが出来ました。ビニールコーティングで、外気と庶断されていますので、海沿いの潮気につよいところでも発錆がありません。価格は580円。

- 部品番号 90890-55048

## 盛りあがりを見せる “75 S Lカートシリーズ戦”

関東シリーズ第一戦から



日本一のスケールで、展開される“S Lカートレース・シリーズ戦”。’75年度チャンピオンを目指し、多くのカーターが走る。(関東シリーズ第一戦より2/23)

’75年S Lカートレース・シリーズ戦は、全国を10ブロックに分け年間79戦が組まれ、初心者からベテランまで、多くのカーターが参加。明日のカートチャンピオンを目指し熱戦を展開しています。

こうしたなか、関東シリーズ第一戦が二月二十三日の日曜日、都下立川の武蔵野サーキットに、カート41台を集めて開催されました。午前九時の受付・車検が終わり、パドックにピットスペースを確保すると、早くもエンジン・セッティングが始まり、カーターを含む70名のピットクルーの熱気、そしてエンジンノイズで、いやおうにもレースムードは高まる。各マシンのセッティング状態を試す練習走行の後、スターティングポジションを

決めるタイムトライアル。食事をはさんで十二時三十分、伴野喜代三郎大会名誉会長の開会宣言、続いて金杉直幸選手の選手宣誓で熱戦の幕を開けました。

Sノーマル予戦を皮切りに、Sクラス、Sクラス、そしてAクラスと公示されたスケジュール通りに進行、第一戦の勝利を目指すカーターは、ストレートに、コーナーにドリフトやスリップストリームなどのあらん限りのテクニクを、一周五〇〇メートルのコースに披露しました。

結果は、Sノーマルに織田正利、Sクラスに小西登、S Sクラスに青柳達也、Aクラスに金杉直幸の各選手が優勝、トロフィーと賞状を手に入れました。

## プジョー杯争奪 サイクルロードレース

ヤマハ発動機名古屋南営業所では三月二日、静岡県袋井市のヤマハコースで、第三回プジョー杯争奪サイクルロードレース大会を開きました。

お客さまにサイクルスポーツを楽しんでいただく機会をふやしていきたいという意図から開催されたもので、午後からはヤマハサイクルジムカーナ大会も行なわれました。この日はちょうど、ヤマハコースを地元のサイクルファンに開放する第一日曜日ともあって、子供たちもジムカーナに飛び入り参加。和気あいあいの一日でした。



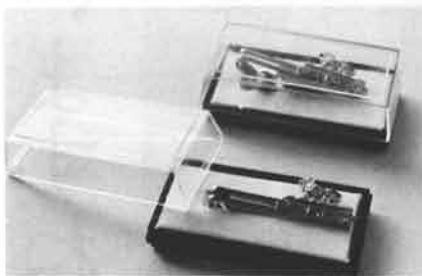
## お店のPR用品としてどうぞ!!

販売促進に役立つ新しいPR用の小物が用意されましたのでご案内いたします。お店のちょっとした心遣いがお客さまの心をとらえます。どうぞ広くご利用ください。ご注文は担当のヤマハマンがお引受けいたします。



●ガスライター(注文番号012008)

メッシュ模様をあしらった小型で薄型のしゃれた感じのガスライターで、片面にYAMAHAのネームが入っています。



●プジョー・タイピン(注文番号012615)

プジョー・フランスの新しいシンボルマークをあしらったネクタイピンです。これからのシーズンには好評を呼ぶものです。



●PR用マッチ(寸六)

「天気の良い日はバイクに乗ろう」(注文番号012101) 「モナミ・プジョー」(注文番号012614) いずれも2000個以上からお名入れをうけたまわります。

# 場にしがにーに

わが友、プジョー

愛知県小牧市岩崎

内田繁一さん・早苗さんご夫妻



松浦輪店のご主人の保さんと奥さんの八重子さん、うしろは若夫婦の護さんと八津代さん



ご夫婦そろって仲よくプジョーにのる安田さんご夫妻は評判のおしどり夫婦

安田さんご夫妻はお寿司屋さん。小牧市の岩崎団地内にあるフードストア「イワサキ」に「繁館」というお店を構え、お寿司弁当の仕出し、販売をしている評判のおしどり夫婦である。お二人には小学校5年生になるお嬢さんがおり、家族三人にひっぱりだこののがプジョー・ミニNS40である。

プジョーはびと味ちがいますね

なかでも奥さまの早苗さんは大のプジョーファン。自宅とお店の往復に、ちよっとした買いいものに、出前にとダークブルーのNS40を颯爽と乗りまわしている。ご主人の繁一さんもこのNS40がお気に入り、「おい、ちよっと床屋に行くから乗ってくぞ」といった具合にこれまた軽快にベタルを踏む。お嬢さんは塾への行き帰り、お友だちの家に遊びに行く

ときなどに使用する。このように、安田さんご一家にとって気軽に使用できるプジョー・ミニNS40は家族同様、なくてはならぬ存在である。

同じく小牧市に立派なお店を構え、プジョーコーナーも設けている松浦輪店の松浦保さんが、お店にとって二台目のプジョーとしてこのNS40を安田さんに販売した。松浦さんと安田さんご夫妻のおつき合いは、安田さんご夫妻がお嬢さんのために子供用自転車を買ったのと同じく、ご主人の繁一さんが、いつも気持よく修理をしてくれる松浦さんのお店が気に入っていましたので、家族全員で乗れるものを買おうと思っ

て松浦さんに相談しました。どうせ買うならながく乗りたいものを買ってみたいところ。松浦さんからこのミニを薦められ、スタイルの良さ、軽さ、落ちついていてしゃれた感じに一目惚れしてこれに決めました。お昼どきや夕方など、近所の奥さまが多勢自転車に乗って買いいものにみえますが、やはりプジョーはフランス製、どこか違うんですね。自動車でも外車はどこか違うものを持っているのと同じように、プジョーはひと味違いますね。どこかのコーヒーマーシャルではありませんが、違いのわかる男、もちろん女もですが、そういう人にとってやはりプジョーは最高の自転車ではないでしょうか」と繁一さんはプジョーについて語ってくれました。

# 男性週刊誌でもPRしています。

## 大地をもっと知るための50cc。新発売。

若い人の中で人気を呼んでいる男性週刊誌といえば「プレイボーイ」「平凡パンチ」が大御所。この両誌にも「大地をもっと知るための50cc。新発売」の大見出しのもと、『ヤマハトライアルTY50』の広告が出稿されています。カラーグラビア見開き2ページのボディコピーには、バイクの楽しさ、人車一体のテクニックがみだす素晴らしさ、そして原付免許、普通免許で乗れる『TY50』の特徴が的確に表現されています。モーターサイクルの原点をしっかりとつかんだ設計が、ロードからオフロードへ新しいバイクの世界を創りだすさまざまな魅力が、若い読者の目をとらえます。お店を訪れるお客さまも、こうした読者の一人であるかも知れません。



# Mon ami, わが友、プジョー。 Peugeot



**PEUGEOT**  
プジョー+サイクル 

「言いたいんですけど、  
フランス製というだけで買いました。」  
東京都渋谷区にお住まいの会社員 沢田昭義さん(23才)



「J10を選んだのは値段が手頃というところもありました。プジョーの体型に実によく感じています。」

「澤田さんは昨年大学を出られ、いまは会社勤めの一年生。毎週日曜日のひと汗がなによりも楽しいとおっしゃっています。」

「まず自転車に乗ろうと思ったのは、動機はなんですか。」

「ボクの仕事はあまり足腰を動かさないデスクワークがほとんどで、どうしても運動不足におちいってしまっていました。でも、もう学生ではないのでハードなスポーツはできません。そこで選んだのが自転車だったので。それに自転車は嫌いな方ではないので。」「いかがですか、乗っていてプジョーは。」

「週一回、それも代々木公園や神宮外苑をコースとするポタリング程度です。だからメカがどうのこうのといった難しいことはわかりません。でも、これだけは言えます。ボクのヘタなライディングにもめげず丈夫で、なおかつ上手にリードしてくれる。言うならば、自転車がボク自身に溶け込んでくれた。」

「プジョーはそんな自転車のようには感じます。」

「聞くところによると、いまJ10を改造中とか。」

「ええ、少し欲がでてきたのでチェーンホイールを46→40Tから48→36Tに、アームも100mmとロードナー向きに考えています。自転車ばかりに負担をかけられませんか。」

「さて、あなたの自転車はどんなカタチで毎日の暮しの中を走っていますか。土、光り、風、自然のぬくもりに触れた後は、自転車の点検・整備をしてください。今プジョーからお願いです。」



J10  
●ディレーラー・サンプレックス(ハレステ) JSAV323 プレストーイングAR337P ●ハブ・アトム軽合金ウイングナット ●タイヤ・ミシエランW/O ●ブレーキ・マフラスクレーターセンターバル ●¥43,000